

甲賀市立大原にこにこ園

日時：2013年2月20日（水）13:30-17:00

2013年2月22日（金）9:00-16:00

場所：甲賀市甲賀町大久保 952

田んぼや里山に囲まれたにこにこ園。園から歩くと、立派な森がある大鳥神社に着きました。太い木や大きな石、丘があって、ワクワクドキドキする森です。冷たい風が吹き、時折雪が降る寒い日でしたが、子どもたちは3つのプログラムに興味津々、森の自然をたっぷり楽しみました。（対象：年長児 21名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。講師 島川武治（しまっち）さん

子どもたちに伝えたい4つのメッセージ・・・

新うおーたんの自然体験型プログラム集でも記載されていますが、以下のことを幼児期の自然体験では、保育者が念頭において、保育を実践してほしい。

- 豊かな感性を培ってほしい。
- いのちの尊さを感じとってほしい。
- 地域の自然を大切に思っていてほしい。
- 自ら考え行動できる力（生きる力）を培ってほしい。



設定されたフィールドだけでなく、道中の自然でもたくさん楽しめます。



保育者全員で枝に触れました。1本の木には、こんなに枝があることが分かりました。

木も一緒に遊ぼうよ！！

いつもはただ並んでいる木。じっくり見たり触ったりしていると、1本1本違いがあることが感じられます。お気に入りの木を見つけることから始めて、2人、4人と増えながら木を囲んでみます。最後はクラスみんなでどれだけたくさんのお木を囲めるかな。



お気に入りの木の声を聞いたよ。「何か言ってるよ」「楽しいよって言うてる！」



5人で囲んだら、周ってみよう！楽しいな



男の子対女の子で、どっちがたくさん囲めるかな。



みんなで囲んじゃえ！手と足をうーんと伸ばして伸ばして

はっぱずる

森には色とりどりの葉っぱが落ちています。お気に入りの大きな石の上に並べてみました。すると、きれいな葉っぱを石の上に敷き詰めてみようということになりました。たくさんの葉っぱを拾って、さらに隙間をつめるように、葉っぱの個性を活かして並べていきます。



お気に入りの葉っぱをみんなで、見せ合いっこ。



この隙間にはこの葉っぱ、あっちの隙間にはこの葉っぱ！みんなでどんどん並べると石が葉っぱで埋まっていきます。



まとめのお話。
「葉っぱにもいろんな形や色、大きさがあるように、みんなもいろんな顔や体があるね。違っていいんだよ。」

すてきなたからものみ～つけた！！

木や葉っぱに触れた子どもたち。最後は宝物となる葉っぱや枝、実などを見つめます。その宝物を宝箱に入れて、森に隠してもらいます。隠された宝箱をグループで見つけると、さらに自然物が自分の宝物になっていきます。



みんなは、どんな自然のものを見つけたかな？先生はこんなチクチクする葉っぱを見つけたよ！



30を数えて。「もーいーかい？」「まーだだよ」「早く探しに行きたいなあ」「目あけちゃダメだよ」



宝箱には、自分の宝物がちゃんとあったよ。「僕は葉っぱ。」「私はドングリ。」

プログラムを終えてのふりかえりから

- 普段の保育では、走り回ったり寝転がったりであったが、じっくりと自然と触れ合えた。
- 子ども同士が声を掛けてグループとして動いたり、外れた子どもを呼びに行ったりと、普段と異なる姿も見られた。
- 年長ならではの工夫や協力が見られた。声やつぶやきも多かった。
- 保育者の話し方で、子どもの様子が変わる。投げかけ方や口調の大事さに気づいた。
- 自然の循環など、一歩踏み込んで考えることに気づいた。
- 掘り下げて考えて保育をすることで、今まで見過ごしていることも多かったことに気づいた。